



## 日高、門別両地区で戦没者追悼式 遺族らが戦没者の冥福を祈り黙禱

8月5日と19日の両日、平成23年度日高町戦没者追悼式が、日高、門別の両会場で開催されました。19日に開催した門別地区では、遺族と来賓の方々を含め約50人が参列し、戦没者の冥福を祈り黙禱を捧げ、献花を行いました。

門別地区遺族会の市原会長は、「私たちが味わった悲しみや苦しみを誰にも味わわせたくはない。後世に語り継ぐことが私たちの重要な使命」と挨拶しました。



## 門別競馬場で「夏のケイバまつり」開催 流鏝馬やウエスタンショーなどイベント

8月9日からの3日間、門別競馬場では「夏のケイバまつり」が開催されました。

日高管内の特産品の販売や、縁日の開催のほか、カウボーイが馬を操るウエスタンショーや疾走する馬にまたがりながら的にめがけて矢を射る「流鏝馬」が披露され、矢が的に命中すると、来場した多くの観客から大きな歓声があがりました。

また、ホッカイドウ競馬のキャラクター「ホクト」くんの妹「ナナセちゃん」も登場し、来場者を歓迎しました。



## 日高地域づくり推進協議会主催の日帰りバスツアー 外国人留学生が競馬観戦や乗馬体験

8月30日、札幌市から外国人留学生を招いて日高町でアウトドア体験や競馬観戦を楽しみ、おいしい食材を堪能してもらう日帰りバスツアー「のんびりの大地・日高を食べて遊ぶ」が日高地域づくり推進協議会の主催で行われました。

参加したのは札幌市の大学に在籍する中国と韓国からの留学生27人で、30日の早朝札幌を出発し、日高地区に到着、ラフティングや乗馬、日高の自然を散策する「ひだからツアー」で日高の魅力を堪能しました。

その後、門別競馬場に移動しての競馬体験では、主催者からプレゼントされた単勝馬券を手にとり、競馬を楽しみました。



## 日高町と王木林材株式会社が協定締結 林野災害における協力協定書に調印

8月25日、日高町と王木林材株式会社は、「林野災害における協力協定」を締結しました。

役場町長室で行われた調印式では、同社の早坂功社長と三輪町長が協定書に押印し、協定内容の確認を行いました。

この協定により、林野災害の際には、同社からの人材・機材の派遣を受けて被害の拡大を防御することを目的としています。

調印後、早坂社長は「林業に携わる会社として、有事の際は全力をあげて協力したい」と話していました。



## 直売所「とことこトントン」オープン！ 地域の産業に少しでも元気を！

8月18日、厚賀のパチンコ店跡を利用した産地直売所「とことこトントン」がオープンしました。

店の開業に際しては、国が実施する地域社会雇用創造事業補助金を利用し、3人の農家の方々が共同で経営を行っています。

地元の生産農家から販売を委託された野菜がずらりと店頭並び、商品が売れると代金の8割が生産した農家の収入となります。

代表の安達由美子さんは「一次産業の方々へ少しでも元気を与えられれば」と話していました。

今後は鮮魚の取扱も始める予定です。



## 厚賀地区で交通安全街頭啓発 子どもたちが沿道で事故防止を訴え

8月27日、厚賀地区では子どもたちが国道沿いに立ち、ドライバーに向けて交通安全を呼びかけました。

この啓発活動は、厚賀町青少年育成委員会(鈴木正志会長)の呼びかけにより行われたもので、地域の子どもの会のメンバーや保護者ら33人が参加しました。

また、厚賀地区では29日にも町主催の住民大会が開催され、地域の方々70名がプラカードや旗を手に国道沿いに立ち、交通安全を訴えました。



## 日高町消費者被害防止ネットワークを設立

8月29日、町の任意団体として、右のとおり日高町を含む町内8団体で構成する、地域ぐるみの消費者被害防止に取り組むためのネットワーク、「日高町消費者被害防止ネットワーク」が設立され、第1回目となる会議が役場会議室で開催されました。

構成する各団体は、日常の業務を行いながら、消費者被害が起きていないか注意いただいています。

被害等の情報があれば、ネットワーク団体へお話しください。

また、消費者問題でお悩みの方は、役場産業経済課内消費者相談窓口(電話01456-2-6185)まで、ご相談ください。



### 〔構成団体〕

- ・ 北海道札幌方面門別警察署
- ・ 日高町社会福祉協議会
- ・ 日高町門別地区自治会連絡協議会
- ・ 日高町日高連合自治会
- ・ 千栄自治会
- ・ 門別地域包括支援センター
- ・ 日高地域包括支援センター
- ・ 日高町役場